

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英
幹事 兼子 聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019-20年度国際ロータリーテーマ

第1597回例会

令和元年 9月5日 (12:30～13:30)

○ソング

- 国歌 (君が代) ●奉仕の理想

○スマイルBOX

- 米沢中央RC (本日、お世話になります。明日、皆様のお越しをお待ちしております。お気を付けておいで下さい。心から感謝申し上げます。誠に有難うございます。)
- 中目公英会長 (米沢中央ロータリークラブの古畑角次会長・志摩茂樹幹事さまを始め、9名の方々でご来訪いただき、ありがとうございます。)
- 永野文雄会員 (米沢中央RCの皆様ようこそ。ゴルフ愛好会のコンペでダブルで優勝させていただきました。ありがとうございます。林利勝名誉会員さんの90才の誕生日おめでとうございます。)
- 関谷亮一会員 (米沢中央ロータリークラブの皆様ようこそおいでくださいました。齋藤様来年度のガバナー就任おめでとうございます。ご活躍をお祈り申し上げます。)
- 遠藤敦会員 (米沢中央ロータリークラブの皆様、白河西RCへ来訪有難う御座居ます。私も久しぶりの参加です。これからも友好させて頂き宜しくお願い致します。)
- 安部和夫会員 (本日、卓話をさせていただきありがとうございます。今少し緊張しています。)
- 宮本多可夫会員 (米沢中央ロータリーの皆さん本日はようこそ。本年もよろしくお願い致します。)
- 富永章会員 (米沢中央RCの皆様ようこそ。71回目の誕生日祝いありがとう御座居ます。)
- 金田昇会員 (米沢中央RCのみなさま、ようこそおいで下さいました。本日明日とよろしくお祈りします。)
- 山口治会員 (米沢中央RCのみなさん、ようこそ白河西へ。交流会楽しみにしています。)
- 成井正之会員 (米沢中央RCの皆様、ようこそ。古畑会長、齋藤GE卓話ありがとうございます。昨日、突然林利勝P.Pから幸せのお裾分けを頂き感銘を受けました。遠くで見てくれる先輩がいることは、うれしいことです。)
- 齋藤孝弘会員 (米沢中央RCのみなさんようこそ!! 9月1日第1回中目・兼子年度ゴルフコンペ参加ありがとうございました。優勝の永野さん取切戦でも総取りで重ねておめでとうございました。次回コンペで新しいゴルフシューズお披露目お願いします。)
- 吉野敬之会員 (米沢中央クラブの皆様本日は遠路お越し頂きましてありがとうございました。明日は私達が伺わせて頂きます。今後共末永いお付き合いの程宜しくお願い致します。)
- 堀田一彦会員 (米沢中央RCの皆様ようこそ白河へ。明日はお世話になります。)
- 鈴木孝幸会員 (米沢中央RCのみなさま、ようこそいらっしゃいました。逆に明日はこちらからお伺い致しますので宜しくお願い致します。)
- 石部辰雄会員 (歳は取りたくなくても、お祝は戴きます。ありがとうございます御座居ます。)
- 小林義勝会員 (米沢中央クラブの皆様ようこそいらっしゃいました。今後共宜しくお祈り致します。)

▶第1597回例会出席状況 (R元年9月5日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	25名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	3名
Ⓕ ②の出席者数	9名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	37名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	53
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	69.81%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



中目公英会長

皆さん、こんにちは。9月に入って第一回目の例会であります。例会内容盛り沢山でございますので、会長の時間を短くしたいと思っております。3か月目の会長、まだまだ新米でドキドキしております。今月も一つ皆さんよろしく願いいたします。まず初めに、今日は米沢中央ロータリークラブから9名の皆様方にお越しをいただきました。ご紹介させていただきます。まず初めに、古畑角次中央クラブ会長。それから、幹事の志摩茂樹さん。それから、渉外交渉委員長の赤間俊明さん。それから、来年2020-2021年度山形県の第2800地区のガバナーに就任が予定されております、今年度ガバナーエレクトの齋藤栄助さんです。その齋藤ガバナーの時の次期地区幹事、羽生吉弘さんです。次年度の会長エレクトの小野欣也さんです。次年度の幹事予定者、鳥貫正弘さんです。SAAの佐藤清一さんです。会員増強委員長の齋藤則子さんです。多くの方々にご来訪いただきまして本当にありがとうございます。さらには、このような美味しいお酒を頂戴いたしました。我がクラブの親睦会の例会の時に、みんなでいただきさせていただきたいと思っております。この後、古畑会長並びにガバナーエレクトの齋藤さんのほうからご挨拶を頂戴したいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。米沢中央ロータリークラブは創立33周年だそうでございます。我がクラブは創立34周年です。ちょうど福島県と山形県が地区が分離する時に、山形県の九里ガバナーのほうからご紹介、仲人ということで、中央クラブさんと姉妹クラブを締結させていただきました。設立から大体同じ年代ですけれども、米沢中央クラブさんは齋藤さんを二人目のガバナーとして輩出するクラブでございます。それ程、米沢中央さんはロータリー愛が溢れるクラブでございますから、西クラブのほうは明日表敬訪問に沢山11名で訪れて勉強させていただきたいと思っておりますので、今後とも中央クラブの皆さん方、西クラブを導いていただきますようによろしく願いしたいと思っております。それから、9月は国際ロータリーでいいますと基本的教育と識字率向上月間という月間だそうでございます。ただ、日本は識字率は99パーセント。世界でいうと100パーセントの国もあれば、99.5パーセントの国もあつたりいたしました。順番的には4位なんですけど、大体同率の国が幾つかありますから、世界ランキングでいうと23位に当たっているそうでございます。そのような識字率が高い教育レベルが高い国にとってこの月間ってまいちピンとこないのですけれども、この間わたくし民生委員として白河第一小学校に訪れる機会がありましたが、白河第一小学校には日本語を話せないお子さん方が3名いて日本語教室が1クラス開かれています。お父さんは日本人ですが、お母さんがそのお二人は両方ともお母さんフィリピンの方で、家庭内ではフィ

リピンの言葉をほとんど喋っているらしく、日本語は喋れない日本国籍のお子さんがいるというふうなお話を学校の先生から聞いてきました。99パーセントのあと1パーセントはそういうところに日本国内にあるんだなというのを実感してまいりました。100パーセント目指すように、もう少しロータリーも識字率向上について協力していかないといけないのではないのかなと肌身で感じてきた次第です。それから、今日の例会の内容は「ロータリーの友」月間となっております。我がクラブの雑誌広報委員長の安部和夫さんのほうからこのあと卓話をいただくことになっております。最後に、皆様方にロータリー情報の一つお伝えをさせていただいて会長の時間をしめたいと思っております。皆さん、ロータリー文庫という言葉聞いたことがあるでしょうか。ロータリー文庫、聞いたことがある方。さすが、齋藤ガバナーエレクトでございます。これは日本ロータリーが50周年を迎えた時に、ロータリーの友の雑誌をずっとストックしてたのでしょけれども、日本ロータリー50年史を作りたいということで、歴代の日本のガバナー経験者からいろんな資料集めて、いってみれば図書館を作らしようということで出来たんだそうでございます。今年、日本ロータリーは100周年、2020年の年に100周年を迎えるということでもあります。このロータリー文庫はそういうのがあるというのはそれはわかるんですけども、皆さん方はそれに協力しているというのはご存じでしょうか。一人当たり大体300円の負担金をロータリー文庫に収めているんだそうです。全然関係ない組織ではありませんから、事務所は東京の芝公園のあるそうですから、もし東京に行った時には芝公園に寄ってロータリー文庫の図書館を訪れてみるというのもいいんじゃないでしょうかという最後にロータリー情報をお伝えさせていただきました。会長の時間をしめたいと思います。

■幹事報告

兼子聡幹事



- ロータリーの友事務所：ロータリー広報誌 友と歩む 地域と歩む
- ロータリー文庫運営委員会：2018-19年度決算書
- しらかわ駅伝競走大会実行委員会：第24回しらかわ駅伝競走大会の大会役員委嘱について
- 「さあいこう！白河プロジェクト」実行委員会：第8回サイクルロードレース「城'd 白河」2019オープニングセレモニーご臨席のお願い

■お客様の挨拶

○米沢中央ロータリークラブ 会長 古畑角次様



皆さん、こんにちは。米沢中央ロータリークラブの今年度の会長を仰せつかっております古畑角次といいます。今日は9名で参りました。あと2名おったんですが、様々のつぴきならない理由で減りました。よろしく願いします。まず挨拶ということでは

が、先程も会長もちょっと話されたんですが、うちのクラブと白河さんの姉妹の馴れ初め。実はうちのクラブの4代目の会長の猪俣さんと白河さんの藤田さんが会長の時に締結されたんですけども。たまたま昨日、白河さんとの馴れ初めのことをちょっと知りたくて読んでおいたら、たまたま1500回記念ロータリーの記事が目にとまりまして見ておいたんですが、7名の方がチャーターメンバーとして今いらっしゃるということです。うちのクラブも8名チャーターメンバーが残っております。うちのクラブ一番年上が16年生まれかな。だから77歳ということで、その中で私が実は2回目なんです、会長になったのが。というのも、白河さんは60名近い会員なんです、我がクラブは40名。最盛期から約30名弱減っております、そんなこともあってまた会長が回ってきたというのが実情なんです。私が会長の時の一緒にさせていただいたのが富永さんです。同期の会長。皆さん、この間冗談にまた会長だろと、そういう冗談を言うからこういう風に私なっちゃいました。来年で、当クラブとは30周年になるわけですが、米沢市は今、市制130年。それから、上杉鷹山公が入府されて250年という記念すべき年を迎えまして、いろいろと式典があります。改めて姉妹都市であったり、友好都市との交流を絆を深めているところなんです、提携というのはやはり上杉謙信公と鷹山公にちなんだものが多くて、最近最後の殿様の上杉茂憲公という方に脚光を浴びています。この上杉茂憲公というのは、今から数えて4代前かな。この方のきっかけは先程うちのクラブから来ました佐藤S A A、ちょっと立ってください。この方がその上杉様を大変崇拜されていて、今の殿様邦憲様という方が17代当主なんですけど、この方も学者で素晴らしい方です。その上杉茂憲公という素晴らしい方がいたんだということをどうしても伝えたくて、上杉茂憲公としては沖縄県の二代目の県令だったんです。そのことを知らせたくて、我々と一緒に沖縄に行ってきたんです、2年前。彼は2年前に会長をされています。残念なことに、沖縄の人達はその上杉茂憲公という2代目の県令の事ほとんど知らないんです。知らない原因は様々あるんですけど、一つはあまりにも上杉鷹山公という立派な殿様がおったわけですが、それに習ったような政策をした。上杉鷹山公も藩主になった時に家臣からいろんなあまり激しいことをやっちゃったから反逆みたいなこと受けたんですけども、同じようにこの茂憲公も当時の政府から反逆の烙印を押されて、いわゆる更迭されてしまった。ということで、たった2年ということで覚えている人もいないんですけども、実はこの佐藤会長が我々を連れて沖縄に行ってきたんですけど、今年になってからまた今度は一人で行ったんです。沖縄に5つクラブあるんですけど、その5つのクラブを全部一人で回って上杉茂憲公の卓話をしてきた。こういう恐ろしい執念で回って、そして沖縄の町に八重瀬町という所があるんだけど、その八重瀬町長がやっぱりこのうちの茂憲公のことを知ってて、それを教育の柱に掲げて町政の政治をやられてる、その町長にも会ってきたんです。そして、何度も何度も電話をされて頼み込んで、それとい

うのもこの間そのシンポジウムがあったんですけど、それに沖縄の人達呼んでパネラーとして参加してもらおうというふうなことがあったものだから、なんとしても来てもらおうと一生懸命その勧誘してきたんですね。これは内輪の話なんだけど、来られた方の中には若干迷惑だったような方もいらっしゃったようで。とにかく、何回も何回も言うし頼まれたから来たんだよというのあったんだけど、実際にシンポジウムをしてそれが良かったなど。それで米沢の市民にもそのことを知らない人がおって、先週シンポジウムがあって約300人の市民が集まりました。沖縄から来た、一生懸命彼は勧誘したんだけど、来た方々は市民含めて15名です。ロータリーの方は1名だけです。その上で彼の熱意というのはちょっと遠すぎたものですからね、ちょっと遠いということで敬遠されたんですが、シンポジウムは大盛会で非常に有意義なものになりました。米沢の最後の殿様ですが、沖縄県の県令を務めたということ、白河の皆様にもロータリーの皆様にも是非頭の片隅に入れていただいたら幸いかなと思って今日申し上げました。そして、先程も話あったうちのクラブから、次年度齋藤栄助さんがガバナーとして輩出することになりました。今、準備に追われてまして羽生幹事とか大変な時期なんです、地区大会ではよろしくお願いをしたいとお待ちしております。そして、明日は今度は皆さんがうちのクラブにおいでになる。うちのクラブは今日9名なんだけど、11名とかすごい数でいらっしゃるのを楽しみにしていますが、どうぞ気を付けていらしてください。

○国際ロータリー第2800地区

ガバナーエレクト 齋藤栄助様



ただ今ご紹介いただきました齋藤栄助でございます。よろしくお願いをいたします。先程、歴史の話がございました。白河西ロータリーと締結した時の幹事、米沢は私。それから、こちらのクラブは関谷さんでいらっしゃいました。そして、それから10年後、締結式の時の会長も関谷さん。それから、その時の私も米沢で会長をしていたという関谷さんとは並々ならぬ縁で結ばれているというところでございます。先程、ご紹介いただきました来年の2800地区のガバナーをやるということになりました。ちょうど来年の7月1日からでございます。オリンピックだとかパラリンピックだとか、その後に日本ロータリー100周年でしょうか。それなんかありまして、大変来年も忙しいそういう中でのロータリー活動になろうかと思っております。当2530地区からは郡山の石黒さんいらっしゃってます。そして、実は昨日、1日2日3日と東京で缶詰めになりまして彼と3日間ずっと一緒におりまして、そしていろいろ講習を受けてきました。実はロータリー文庫のことを詳しく聞いたのはその時でございます、知ったのは昨日でございます。まあ本当にそれでも3日間、頑張らなければならないということです。今度、秋にはロータリー研究会というのが神戸でございます。そこでまた3泊

4日か4泊5日か缶詰めになりまして、そしてご存じの通り次の年の1月の中旬にサンディエゴに行って、これ1週間の缶詰めで勉強してこなきゃいけないということでございます。そして、皆さん体を壊さないようにというのは合言葉でございますが、私の場合は体の前に頭を壊さないようにというそんな思いがあります。そしたら、うちの嫁さん「壊れるわけじゃない。最初から入っていかないんだから、何も壊れるわけがないだろう。」とこんなことを言われました。というのは、その3つの普通GETSと言ったりなんかします。その会に必ず嫁さんが行かなきゃいけないことがある。同じ時間帯に全部、多少プログラムは違うんですが、全部嫁さんも一緒に座ったままで3日間なり4日間なり勉強しなきゃいけない。そうすると、必ずあなたは仕方がないかもしれないけど、何故私までこんなに勉強しなきゃいけないのかと。そして、来年は更にサンディエゴで1週間勉強しなきゃいけないと。そして、まあまあぶー言われておりますので、今年から来年にかけてだけとはにかく文句言わないで、とにかく嫁さんの言う通りやろうと。そして今年、皆様方の地区は飯坂で素晴らしい地区大会を開かれるということを知りまして、もう既に私は申し込ませていただきました。是非そんなことで、その地区大会で皆様方とお会いするのをまた楽しみにしております。来年、私の地区大会の時に是非多くの方がいらっしやることをお待ちしております。

■委員会報告

○雑誌広報委員会

渡部勝也委員



皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会の渡部と申します。よろしくお願ひいたします。それでは「ロータリーの友」の見どころをご紹介します。まず、横組みのほうからご案内いたします。横組みの5ページを開いてください。先程から申し上げますように、9月は「ロータリーの友」の月間でございます。全国34地区から選出されました「ロータリーの友」の地区代表委員が年に数回東京で会合を開いております。それで「ロータリーの友」についてのお話し合いをしているようでございます。その様子がこの写真で載っております。それで、ちなみに2530地区からは福島中央の箭内さん、それから2800地区からは山形南の谷口さんという方がこの会合に出しております。それで12ページから17ページにかけて「ロータリーの友」の情報が載っております。これに関しましては、今日安部委員長のほうから卓話がございますので割愛させていただきます。次に7ページをお願いします。9月はやはり、基本的教育と識字率向上の月間にもなっております。世界で学校に行けない子供たちが約1億2千万人いるようでございます。それから、大人になっても読み書きのできない方が7億5千万人おります。こういう人たちに対してロータリーは、学校を作り、図書を贈り、そしてさらには教師を育てているというような世界各地で活動をやっている

ということでございます。そして、その識字率向上に関する記事がその次の8ページ9ページ。それから、10ページ11ページに載っております。それから、これページないんですが18ページを開いてください。18ページはR I指定記事になっております。アロハロータリーのページがあります。本年度の国際大会の開催地であるホノルルによるよこそということで、10ページ以上に渡って紀行文の形で紹介されております。興味のある方は是非読んでいただきたいと思ひます。横組みの32ページを開いてください。「ロータリー希望の風奨学金」というのがあります。これは東日本大震災で両親を亡くされた子供が約241名。それで片親を亡くした人が1483名いるそうです。この親を亡くした子供たちが大学や専門学校に行く時に毎月5万円を支給するという奨学金でございます。2011年から現在まで、約5億5千万円以上の支給をしているようでございます。それで、これは2033年くらいまで続けるような計画になっているようでございます。それから、縦のページに入ります。縦のページの4ページを開いてください。「ラグビーから学んだ和の心」という記事があります。この記事は宮本慶一さんという方が書いておまして、宮本さんは慶応大学を出て日本銀行に入行され、小倉ロータリークラブそれから金沢ロータリークラブに在籍しておりました。現在は入っていないようでございます。彼は小学5年生からラグビーを始め、現在は世田谷のラグビースクールで10年以上コーチをしているようでございます。この中で、ラグビーを通しての人生観が書いてあります。そして、ラグビーの精神とロータリーの精神は近いものがあるんだというようなことも書いてございます。それで、また今年の9月20日から11月2日にかけて日本でワールドカップが開催されます。ラグビーのルールは非常に難しいんですが、実際生を見てみるとその面白さがよくわかるので、日本全国で開催しますので是非行ってくださいというようなことが書いてあります。それから最後に縦組みの22ページ、ここに「ロータリー・アット・ワーク」のページがあります。ここには先日行われましたCKBの記事を投稿いたしました。採用されれば多分11月か12月に掲載されると思ひますので、是非期待していただきたいと思ひます。以上で「ロータリーの友」の見どころといたします。どうもありがとうございました。

○スキー愛好会

佐藤幸彦会長



皆さん、こんにちは。米沢中央ロータリークラブの皆さん、ようこそ。来年の話で恐縮ですが、2月1日2日と恒例になりました蔵王温泉スキー場での交流会がありますので、是非皆さんご参加のほう、よろしくお願ひします。なお、今ちょうど中央ロータリーさんいらっしやってますが、この蔵王温泉の交流事業というのは米沢中央ロータリーさんからのお誘いがあるって始まった事業と聞いておりますので、皆さんどん

どうぞ参加いただければと思います。夜の温泉、また夜の懇親会だけでも結構でございますので、よろしく願いいたします。

○シスター委員会

運天直人副委員長



皆さん、こんにちは。米沢中央ロータリーの皆様、お越しいただきましてありがとうございます。また、明日はお世話になりますのでよろしくお願いいたします。本日、シスター委員会からのご連絡ですが、委員長の青木君が栗子峠を超える前に那須山を越えなきゃいけないということで今日お休みですので、私のほうからお話させていただきます。明日9月6日、山形の米沢市「グランドホクヨウ」で行われます定例会のほうに表敬訪問させていただきます。当クラブからは11名参加予定となっております、明日は新白河の「アジアン」、根本会員のお店の駐車場に10時集合ということでバスで参加させていただきますので、遅れないようよろしくお願いします。また明日、よろしくお願いいたします。

○親睦委員会

横田俊郎委員

・誕生日

石部辰雄会員、富永章会員、金田昇会員

・結婚記念日

鳴島三夫会員



○米沢中央ロータリークラブ 佐藤清一様



皆さん、こんにちは。米沢中央クラブの佐藤清一と申します。先程来、沖縄の話させていただいたというご紹介いただきましたということで、白河西さんに来たらこれだけは話しておかなくちゃならないと思ひまして、コザクラブのことですが私は沖縄の5クラブ回ったんですけども、コザさんの所はなんかお休みかなと思ひましてメークの申し込みしなかったんです。そうしたら、沖縄のロータリアンから段取りしていただきまして、帰る前の夜でしたがコザクラブに行つてというか、焼肉屋さん連れて行ってくださりまして、そこで米沢牛みたいな美味しい牛肉をご馳走になってきたとござます。その時は芝田さん、それから今年度会長の與那嶺さん、それから分区分事の島さん。その3人の方と事務局の女の方と紹介してくれた方で、コザの焼肉屋さんでいっぱいご馳走になって、ただで。これも白河西さんのおかげと思ひ

てご報告させていただきます。どうぞご馳走様でした。ありがとうございます。

■本日のプログラム

雑誌広報委員会

○安部和夫委員長



どうも、こんにちは。短くなって内心ほっとしております。今月は雑誌広報月間ということで、委員長のお前が責任もって卓話をしろということなので頑張つてやりたいと思ひます。今日は中心に「ロータリーの友」についてのお話と、それからそれのできるまでのロータリーのちょっとした歴史を、若い会員もおりますので一回復習の意味も込めてロータリーの歴史を振り返つてみたいと思ひます。先程、会長からもありましたけど、1920年に東京ロータリーが発足したわけでございます。来年の10月がちょうど100周年ということで、記念すべき年になっております。それから1940年に、戦時下においてロータリーがやむなく解散ということで、戦争が終わるまでロータリーは活動ができなかったという悲しい時代がありました。そして終戦の明るくなる年からロータリーを再開したいということで活発に運動がおきまして、まずやったことは進駐軍とかGHQとかに掛け合つて国際ロータリーの事務局長に手紙を出したり、日本でロータリーをもう一回再開したいというような手紙を託したそうです。そして、しばらく音信不通で連絡なかったんですが、駄目なのかなという形の時にロータリーの会長の特命を受けたミーンズさんという方が来日されまして、この方が本当に日本のロータリーをある意味では恩人だと思うんですが来ていただいて、日本の状態それから東京とか京都とか大阪を回つて、ロータリーを再開できる環境にあるかどうかとかいうことを調査されまして、またGHQにも掛け合つていただいて流れを作つていただいたということであります。ただ、一つ問題がありまして、東京ロータリーは特にそうなんですが公職追放者という方が多いんですよ。ということで、それが最大のネックになっておりました。それで、その公職追放者の中でも経済追放者という形が大部分の方なんです。それまで除くということになると、ロータリーが維持できない。そのミーンズさんを中心にGHQに掛け合つていただいて、それはOKですよということで即出来たということだったそうです。それで再開できたのは1949年、昭和24年です。終戦から4年後なんです、その時に東京ロータリーでチャーター伝達式というのが行われたんですが、その時の祝辞が吉田茂総理から直接祝辞をいただいたということに合わせて、マッカーサー元帥からステートメントが発表されたということで、その時にマッカーサー元帥は名誉会員ということで、東京ロータリーの名誉会員になったそうです。そういう意味で、逆にいうと当時日本は国際社会のほうに、まだ国としても各団体としても参加していない時期

でありました。対日講和条約もまだ締結されておられませんので、戦後処理も終わってなかったという状態でありました。当然、国連にも入っていませんしオリンピックにも参加していない。そういう状態で、ロータリーが初めて国際社会に参加したという意義は大きいのかと思っております。それと同時に、多くの方が会社を営まれた方なので、ある意味では戦争協力者という立場になっておりましたので、マッカーサー元帥が名誉会員になったということでお墨付きを貰ったという話になりまして、内心ほっとしたという方が日本全国にあるのではないかということで、大変意義のあるロータリーの二度目の設立総会ということになったと思われまます。それから、ちなみにライオンズはその3年後に設立総会を迎えております。それでこの「ロータリーの友」なんです、経緯というのはその1951年から1952年年度に今度は設立した時に日本で一つしかなかったんですね。60区ということなんです、それを数が増えてきたので分区しようという話になりまして、このまま分かれるのは寂しいと。情報を共有したり、友情を深めたりするようなものが何か欲しいなということで、じゃあ雑誌を作りましょうという話になりまして、この「ロータリーの友」の話が進んだわけでありまして。その時に東と西で話がなかなか意見が対立したみたいですが、西のほうは合理的な考え方で安くてもいいから早く作って雑誌を出したいと。東のほうは、東京を中心にしてお金をかけてでもきちんとした持続可能なような立派な雑誌を作りたいということで意見が対立したんですが、最終的には東の意見が通りました、きちんとした雑誌を作りたいということで発行の運びになりました。その中でその一部幾らにするかという話になったんですが、大体予算をとってみると100円位だったんですね。そうすると、とてもじゃないけども現在の貨幣価値で行くと1,000円、2,000円の話になっちゃうんですね、今の物価指数からいくと。それじゃあまりにも高すぎるということで50円位にして、あとはコマースとか広告をとって賄うという形で50円ということを設定しました。それから、「ロータリーの友」という名前なんです、普通ほかの雑誌はまずただのロータリーとかいう形で国際的にはなっておりますが、「ロータリーの友」というのは当時「主婦の友」という雑誌がベストセラーであって、まあなんかその辺からヒントを貰ってゴロがいいので「ロータリーの友」にしようという話になったそうでありまして。それから、縦組みにするか横組みにするかということも問題になりまして、各クラブにアンケートを取ったそうですね。そうすると、圧倒的に7対3くらいの割合で横組みがいいということで横組みでスタートしました。それから、15年くらい経って現在の形で縦と横と半半でやる形になっております。それから皆さんのほうで「ロータリーの友」今日あると思うんですが、その中で16ページを開いてください。米沢さんのほうにはコピーをお持ちいただきましたけど、世界でロータリーの雑誌が32種類あります。それから、公

的機関の機関紙であります「ザ・ロータリアン」。これはロータリーの機関の雑誌であります、そのほかで地域限定で32種類の地域限定の雑誌があります。ある意味では「ロータリーの友」と同じ格付けでございます。その中で「ロータリーの友」の表紙右上を見ていただきたいんですけども、その「ロータリーの友」と書いてある上のほうにロータリーグローバルメディアネットワークということで位置づけになっております。これは「ザ・ロータリアン」とこの「ロータリーの友」を類する32種類の雑誌があくまでもロータリーの公的な雑誌であるということの証明であります。用意した原稿が大体この辺で半分なんです、時間ということなのでこの辺で打ち切って何かの機会があったらまた読みたいと思いますけども、ちょっとまとまりのない話で申し訳ありませんでしたが、一応卓話に代えさせていただきます。ありがとうございました。

○中目公英会長

米沢中央ロータリークラブの皆さん、どうぞお帰り気を付けてお帰りください。また、明日はお邪魔しますので、どうぞよろしく願いいたします。それから、今月26日「アサヒビール園」で合同移動例会になっております。まだ出欠ははっきりなさっていない方は是非出席の方向で改めてご検討いただければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。あと、何人かの方のスマイルにありました林さんのほうから90のお祝いのお菓子が何名かの会員に届いたと思います。今朝、林さんのほうに私行ってまいりまして、およそ1時間半きっちり指導を受けてまいりました。ロータリーの森の事業をきちんとやれと喋られて行ってまいりましたので、そのことをご報告します。それでは今日の例会を終了します。ありがとうございました。

米沢中央RC表敬訪問



9月6日(金) グランドホクヨウ